目次

安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

正しくお使いいただくことでお使いになる方への危害および、財産への損害を未然に防ぐことができます。安全のために以下の警告事項、注意事項をお守りいただき、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

「安全上のご注意」の絵表示

警告	注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡したり、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。記号の中や近くに注意内容が示されています。

例）「感電注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為（やってはいけないこと）を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）「分解禁止」を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）「電源プラグを抜く」を表す絵表示

注意 ⚠

禁止

本製品は以下のようなところ（環境）で使用および保管をしないでください。
故障の原因となることがあります。

- 保温性・保湿性の高い（じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール・発泡スチロールなど）場所での使用（保管時は問題ありません）
- 湿気が多いところやホコリが多いところ
- 直射日光があたるところ
- 温湿度差の激しいところ
- 水気の多いところ（台所、浴室、水辺、海岸など）
- 腐食性ガス、油煙の中
- 静電気の影響が強いところ
- 熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒーター、コンロなど）
- 強い磁力電波の影響を受けるところ（磁石、ディスプレイ、ス　ピーカなどの近く）
- 振動や衝撃の加わる場所や傾いた場所
- 保温性・保湿性の高い（じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール・発泡スチロールなど）場所での使用（保管時は問題ありません）

本製品は精密部品により構成されています。以下のことにご注意ください。

- 落としたり、衝撃を加えない
- 本製品の上に飲み物などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- 重いものを上にのせない
- 本製品のそばで飲食・喫煙などをしない

ケーブルは足などに引っ掛けないように、配線してください。足を引っ掛けると、けがをしたり、接続機器の故障の原因になります。また、ケーブルの上に重いものを載せないでください。じゅうたんの下などに配線したときは気づかず重いものを載せてしまいがちですので十分注意してください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が溶けたり、破れたりし、接触不良などの原因になります。

ほかの電子機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響をおよぼし電波傷害をひきおこすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合、音声が乱れたり、画像が乱れたりする場合があります。その場合は次のようにしてください。

- テレビやラジオなどからできるだけ離してください。
- テレビやラジオのアンテナの向きを変えてください。
- コンセントを別に分けてしてください。

安全上のご注意

	長時間に渡って映像をみるばあいは一定の間隔で休憩をとってください。また部屋を真っ暗にすると目に疲労が蓄積されますので部屋を適度に明るくしてご覧ください。
	排気ファン動作中は電源ケーブルを抜かないでください。冷却ファンの回転音が止まり、主電源をオフにしてから電源ケーブルを抜いてください。
	ランプモジュールのお取り扱い時は、手袋などをして素手ではさわらないようにしてください。ランプモジュールのプラスチック部分以外は、絶対にさわらないでください。破損する恐れがあります。
	ご使用直後はランプモジュール部分は大変高温になっています。絶対に触れないでください。ランプモジュールの交換はご使用後１時間程度放置し、余熱が完全に取れてから行ってください。やけどの恐れがあります。
	ランプモジュールを落とさないようご注意ください。ガラスが散り、けがをする恐れがあります。
	指定の電池（単4型乾電池）以外は使用しないでください。指定以外の電池を使用した場合、故障の原因となります。
	電池を使い終ったときや、長時間使用しない時は取り出してください。 電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けが、故障などの原因となります。
	取り付け時には、極性に十分注意して取り付けてください。（電池には＋極と－極があります。）故障の原因となります。
	本製品を使用中にデータなどが紛失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。

警告 ⚠

煙がでている、へんなにおいがする、へんな音がするなどの異常が発生したときはすぐに使用を中止してください。万一異常が発生した場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因になります。

本製品を濡らさないでください。水気の多い場所で使用しないでください。 お風呂場、台所、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。

本製品を設置するときは、他の機器、壁などから適当な間隔をとってください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。目安として10cm以上の空間を空けてください。

本製品は紙、布などの柔らかいものや軽いものの上に設置しないでください。通気孔（レンズに向かって右側面と、背面）に吸いついて内部の温度が上昇し、火災の原因となることがあります。

本製品を使用するときは近くに燃えやすいものを置かないでください。火災の原因となることがあります。

温度差のある場所への移動するとき、表面や内部が結露することがあります。結露した状態で使用すると、火災や感電の原因になります。使用するところで電源を入れずにそのまま数時間放置してからお使いください。

改造・分解はしないでください。お客様により修理は行なわないでください。火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。

本製品内部へ異物を入れないでください。金属類や燃えやすい物などを入れないでください。火災や感電の原因になります。特に通風孔には異物がはいらないよう注意してください。

ぶつけたり、落としたりして衝撃を与えないでください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

使用中はレンズをのぞかないでください。レンズからは非常に強い光が発せらていて、目を痛める原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

リモコンのレーザー光を目にあてたり、人の目にあてたりしないでください。
目を痛める原因となりますので、絶対にのぞき込まないでください。本リモートコントロールにはクラス II レーザーが装備されています。

禁止

本製品は下記のようなところで使用しないでください。
故障の原因になったり、思わぬ事故のもとになります。

- ほこりの多いところ
- 振動や衝撃の加わるところ
- 不安定なところ
- 通気孔（レンズに向かって右側面と、背面）がふさがるとこ
- 温度差の激しいところ
- 水分や湿気の多いところ
- 温度が高いところ

使用中や使用後は排気孔（レンズのある面）およびその回り、設置台が熱くなります。
やけどの原因になりますので、触らないでください。

ランプモジュールを交換するときは、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となります。

ケーブルは付属のものを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、ケーブルが傷み、火災や感電の原因になります。

- 引っ張ったり、折り曲げたりしない
- 圧力をかけたり、押しつけない、ものをのせない
- 加工しない
- 熱器具のそばで使わない

電源プラグはほこりが付着していないことを確認して使用してください。接触不良で火災の原因になります。電源プラグは根本までしっかりさしてください。根本までさしてもゆるみがある場合は接続しないでください。販売店や電気工事店に依頼し、コンセントを交換してください。電源コンセントはたこ足配線、テーブルタップやコンピューターなどの裏側の補助電源への接続をしないでください。

電源コードの抜き差しは必ずプラグ部分を持って行なってください。電源コードを引っ張るとケーブルが傷み、火災の原因になります。電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、濡れた手で行なわないで下さい。濡れた手で行うと感電の原因になります。

禁止

電池の液が漏れたときは、液に触れないでください。

- 電池の液が目にはいったり、体や皮膚につくと失明やけが、炎症の原因となります。液が目に入ったときは目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。
- 液が体や衣服についたときすぐに水道水などのきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがが症状があるときは、医師に相談してください。

厳守

電池は小さなこどもの手の届かない場所に置いてください。電池は飲み込むと、窒息したり、胃などに障害をおこしたりする原因になります。万一、飲みこんだときは、ただちに医師に相談してください。

禁止

＋）（−）を金属類で短絡させないでください。液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。

厳守

電池から液が漏れたら、すぐに火気より遠ざけてください。漏れた液やそこから発生する気体に引火して、発火・破裂の恐れがあります。

禁止

電池を火の中に入れたり、加熱・分解・改造・充電しないでください。また、水で濡らさないでください。
液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。

厳守

注意

発火注意

電源ケーブルを取り扱つかうときは以下のことにご注意ください。

- 電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。ケーブルを加工しないでください
- 電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、ケーブルが傷み、火災・感電・故障の原因となります。
- 濡れた手で電源ケーブルのプラグをコンセントに接続したり抜いたりしないでください。感電の原因となります。電源ケーブルがコンセントに接続されているときには濡れた手で本体に触らないで下さい。感電の原因となります。
- 電源ケーブルのプラグは根本までしっかり差し込んでください。ほこりが付着していないことを確認してからおこなってください。接触不良で火災の原因となります。

厳守

本製品を使用する際は、接続するパソコンや周辺機器メーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

設置場所について

本プロジェクターは200 wのランプを使用しており、内部が大変熱くなります。以下の設置場所をお守りください。

● 風通しの良いところに設置してください。内部に熱がこもらぬ様、充分注意し、通風孔（レンズに向かって右側面と背面）をふさぐことなく、充分な空気循環ができるようにしてください。
● 高音になる場所には設置しないでください。直射日光にあたる場所や、熱器具（ストーブ、ヒーター、ホットカーペットなど）の近くに設置しないでください。
● 屋内で使用してください。屋外で使用することを前提に設計されてません。故障の原因になります。
● 設置場所の強度が充分あるところに設置してください。高い場所への設置時は、ぶつかったり、落下したりしないことを充分に注意し、安全に設置してください。
● 油煙や腐食性のガスのあるところには設置しないでください。
● 振動や連続的な衝撃の加わるようなところには設置しないでください。

見る場所について

● 画面との距離を適度にとってご覧ください。
● 暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度な明るさの中でご覧ください。長時間見るときは適度に休憩をしてください。

お手入れについて

● レンズや本体が汚れたときは乾いた柔らかくきれいな布等で軽く拭いてください。汚れがひどいときは柔らかくきれいな布に水または中性洗剤を含ませて良く絞ってから軽く拭いてください。
● 水滴などがレンズについた場合はすぐに乾いた柔らかくきれいな布等で拭いてください。そのまま使用すると、表示面が変色したり、シミになったりする原因となります。また、水分がつくと故障の原因となります。
● 清掃を行なうときは、かならず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

廃棄について

廃棄するときは、地方自治体が定める条例にしたがってください。

ランプの寿命について

- 本製品で使用しているランプモジュールには寿命があります。標準約２，０００時間になります。交換時期になると警告メッセージが画面内に表示されます。ランプ交換のページの方法に従い、ランプモジュールを交換してください。
- ランプは消耗品扱いです。
- ランプモジュールの寿命はあくまで目安として提示されるもので、この限りではない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ランプの寿命について
  ランプは個々の特性により、大きく差がございます。また、ご使用条件、環境、使用経過による劣化などにより、大きく寿命が異なる場合があります。予め交換用ランプを準備しておく事をお奨めいたします。

その他注意事項

- 保管時は高温多湿を避け、ほこりなどが進入しないよう保管して下さい。
- 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 持ち運びするときは、付属のソフトケースに入れて衝撃をあたえたり、雨に濡らしたりしないよう注意してください。
- レンズは傷つき易いので硬い物でおしたり、こすったり、たたいたりしないでください。また、強い圧力をレンズおよび周囲に与えないで下さい。破損の恐れがあります。
- やむを得ず宅配便などで郵送する際は、オプションの専用ハードケースを利用するか、購入時のダンボールとクッションをお使いすることをおすすめします。
- Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Me、Windows 2000は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することはかたくお断りいたします。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更するばあいがあります。

VCCI

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

安全に関する情報

	正三角形内部の矢印の付いた稲妻は、製品の狂態内部に感電の恐れのある、絶縁されていない「危険な電圧」があることをユーザーに警告するものです。
	正三角形内部の感嘆符は、機器に付属するマニュアルに重要な操作およびメンテナンス(アフターサービス)に関する指示があることをユーザーに警告するものです。

警告: 感電の恐れがあるため、プロジェクターを雨や湿気にさらさないでください。筐体内部には、危険な高電圧が存在します。キャビネットを開けないでください。開けるときは、専門技術者にご依頼ください。

Class B 放出制限

このClass Bデジタル機器は、カナダ障害原因装置規制のすべての要件を満たしています。

大切な安全に関する指示

1. このプロジェクターを使用する前に、これらの指示をお読みください。
2. これらの指示を保管して、必要に応じて参照してください。
3. すべての指示に従ってください。
4. メーカーの指示に従って取り付けてください:
   A. 換気孔を塞がないでください。 プロジェクターの安全な操作を確保するために、また過熱から保護するために、プロジェクターは適切な換気を妨害しない位置や場所に設置してください。例えば、プロジェクターをベッド、ソファ、カーペット、または換気孔を防ぐ可能性のある類似表面の上に置かないでください。換気孔から空気の流れを阻止する可能性のある本箱やキャビネットなどの、囲われた場所に本機器を設置しないでください。
   B. このプロジェクターを水気や湿気のあるところで使用しないでください。 火災や感電の原因となるため、プロジェクターを雨や湿気にさらさないようにしてください。
   C. ラジエータ、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器(アンプを含む)など、**熱源の傍に取り付けないでください。**
5. 乾いた布で拭いてください。
6. 製造元の指定する付属品/アクセサリのみを使用してください。
7. アフターサービスはすべて、公認のサービススタッフに依頼してください。 プロジェクターが以下のどれかが原因で損傷したとき、アフターサービスが必要となります 例:
   - ❐ 電源装置のコードまたはプラグが損傷した。
   - ❐ 液体がこぼれた、または物体が器具の中に落ちた。
   - ❐ プロジェクターが雨や湿気にさらされた、正常に作動しない、または落とした。

   お客様自身でこのプロジェクターを修理しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされます。最寄りの正規サービスセンターについては、Optomaまでお電話でお問い合わせください。
8. プロジェクタ内部に物体や液体が入らないようにしてください。危険な電圧ポイントやショートしやすい部品に触れ火災や感電の原因となります。
9. 安全に関係するマーキングについては、プロジェクターの筐体をご覧ください。
10. プロジェクターは適切な資格を持ったサービススタッフ以外には、調整または修理することができません。

安全上のご注意

このユーザーズガイドで推奨されたすべての警告、安全上のご注意およびメンテナンスの指示に従ってください。

- 警告 – ランプ点灯中は、プロジェクターレンズをのぞかないでください。強力な光線により、視力障害が引き起こされる恐れがあります。
- 警告 – 火災や感電の原因となるため、本プロジェクターを雨や湿気にさらさないようにしてください。
- 警告 – プロジェクターのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電する恐れがあります。
- 警告 – ランプを交換する際は、本体の熱が冷めてから行い、取扱説明書に記載の指示に従ってください。55-56ページを参照してください。
- 警告 – 本プロジェクターは、ランプの寿命を自動的に検知します。警告メッセージが表示されたら、必ずランプを交換してください。
- 警告 – ランプモジュールを交換した場合は、オンスクリーンメニューの [Options | Lamp Settings] にある [ランプリセット] 機能を使用してください（48ページを参照してください）。
- 警告 – プロジェクタの電源を切るときは、冷却サイクルが完了したのを確認してから電源コードを抜いてください。90秒間プロジェクタを冷却してください。
- 警告 – プロジェクタの動作中は、レンズキャップを使用しないでください。
- 警告 – ランプの寿命に近づくと、画面に[ランプ警告: ランプの寿命を過ぎています。]というメッセージが表示されます。できる限り速やかに最寄りの販売店またはサービスセンターに連絡して、ランプを交換してください。
- 警告 – 目を損傷する原因となるため、リモコンのレーザー光線を見つめなない、レーザー光線を他の人の目に向けないでください。このリモコンには、放射線を出すClass IIのレーザーが装備されています。

❖ ランプが寿命に達すると、ランプモジュールを交換するまでプロジェクターの電源は入りません。[ランプの交換]（55～56ページ）に記載の手順に従ってランプを交換してください。

推奨事項：

- ❖ お手入れをするときは、プロジェクターの電源を切ってください。
- ❖ ディスプレー筐体は、中性洗剤で軽く湿らせた柔らかい布で拭いてください。
- ❖ 本製品を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

禁止事項：

- ❖ 装置の通風用スロットや開口部を塞がないでください。
- ❖ 本体を研磨材入りクリーナー、ワックス、溶剤などでお手入れしないでください。
- ❖ 以下のような環境下では使用しないでください。
  - 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。
    - ▶ 周囲の室温が5 - 35°Cの範囲に入っていることを確認してください
    - ▶ 相対湿度は5 - 35°C、80%(最大)で、結露はありません
  - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
  - 強い磁場を生成する機器の近く。
  - 直射日光の当たる場所。

目の安全に関する警告

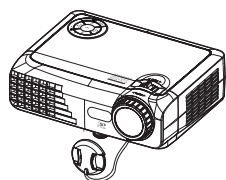
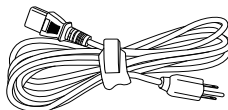
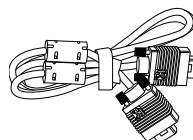
- 常にプロジェクタの光線をまっすぐ見つめることは避けてください。
- 光線と向かえ合って立つのは最小限にとどめてください。できる限り光線には背を向けるようにしてください。
- プレゼンターが光線にさらされないように、棒またはレーザーポインタのご使用をお勧めします。
- プロジェクターが画面と結ぶ線から外れるように設置されていることを確認してください。これにより、発表者が聴衆の方を見ても、プロジェクターのランプを見つめる必要がなくなります。これを実行するには、プロジェクタを床やテーブルの上に置かず天井に取り付ける必要があります。
- プロジェクターを教室で使用するとき、画面の何かを指示するように学生が求められたとき、彼らを適切に指導してください。
- 必要とされるランプの電力を最小限に抑えるために、部屋のブラインドを下ろして周辺光のレベルを下げてください。

製品の特長

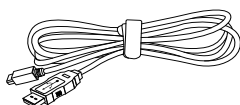
本製品は、シングルチップ0.65" WXGA 1280 x 800 DLP® プロジェクタです。以下のような優れた機能を備えています。

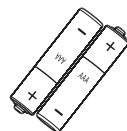
- リアルWXGA、アドレス可能解像度 1280 x 800 ピクセル
- Texas InstrumentsシングルチップDLP®テクノロジ
- NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/SECAM/SDTV 互換（480i/p, 576i/p）、HDTV 互換（720p, 1080i）
- ユーザーが設定を定義できる自動ソース検出
- マウス操作による全機能対応 IR リモート制御
- 操作が簡単な多言語対応オンスクリーンメニュー
- 高度デジタルキーストン補正（台形補正）および高品質フルスクリーン画像リスケール
- 操作が簡単なコントロールパネル
- MacintoshおよびPC互換
- HDMI対応（HDCP準拠）

パッケージ内容

本パッケージには、プロジェクター本体および以下の付属品が含まれます。まず、すべての付属品が揃っていることをご確認ください。万一不足品がございましたら、お手数ですが販売店までご連絡ください。

レンズキャップ付プロジェクタ

電源コード

VGAケーブル

❖ 付属品はお住まいの国や地域によって異なる場合があります。

USBケーブル

IRリモコン

単四電池（2本）

ソフトキャリーバッグ

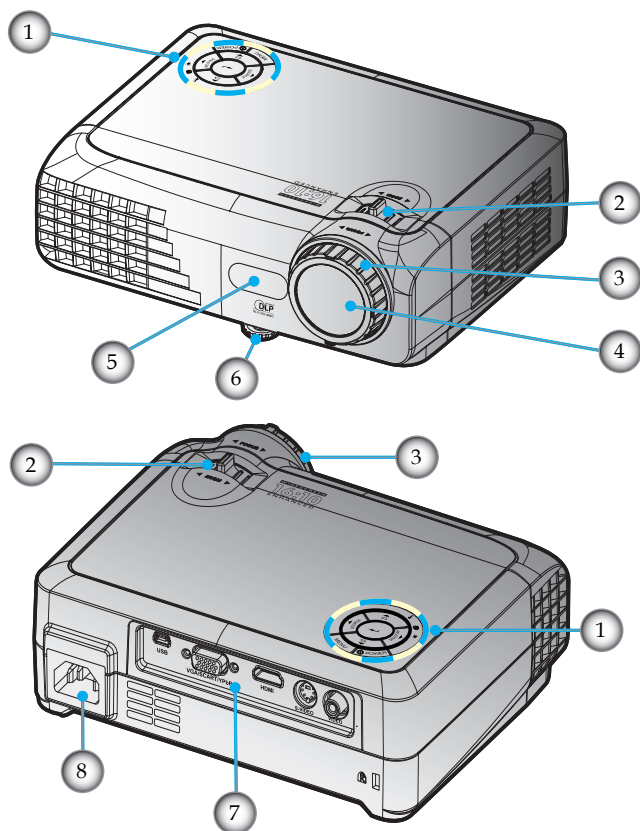
電源コードについて注意事項：

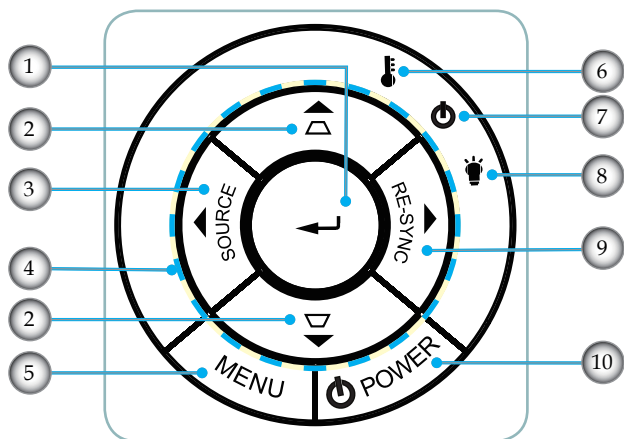
1. 必ずアース接続を行ってください。
2. アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行って下さい。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを切り離してから行って下さい。
3. 本製品付属電源ケーブルは日本国内仕様（AC100V）になりますので、海内での使用できません。

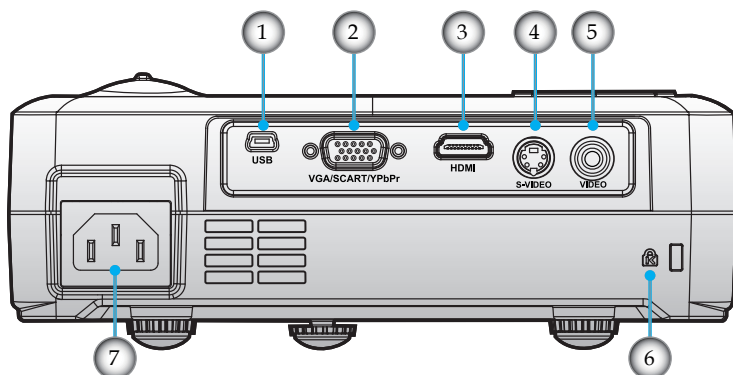
文書：

- ☑ ユーザーズマニュアル
- ☑ クイックスタートカード
- ☑ 保証書
- ☑ WEEEカード

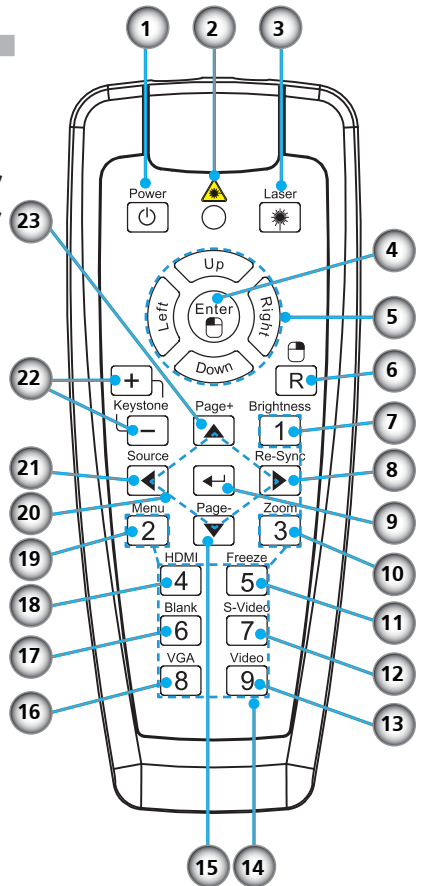
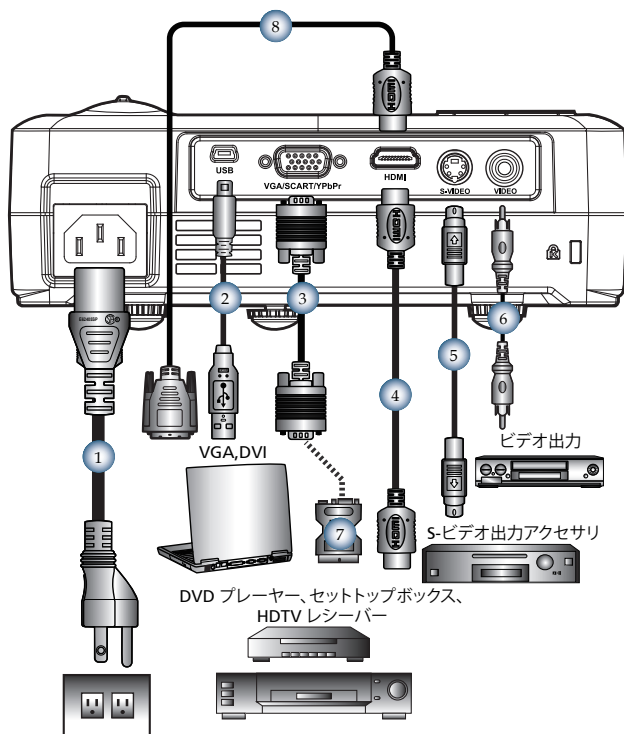
製品の各部名称

本体

1. コントロールパネル
2. ズーム
3. フォーカス
4. ズームレンズ
5. 赤外線レシーバー
6. チルト調整フット
7. 接続端子
8. 電源ソケット

コントロールパネル

1. Enter
2. キーストーン補正
3. ソース
4. 4方向選択キー
5. メニュー
6. 温度LED
7. 電源 LED
8. ランプLED
9. 再同期
10. 電源

接続端子

1. USB差込口
2. VGA入力端子（PCアナログ信号/コンポーネントビデオ入力/HDTV/SCART）
3. HDMIコネクタ
4. S-VIDEO入力端子
5. コンポジットビデオ入力端子
6. Kensington™ ロックポート
7. 電源ソケット

リモコン

1. 電源オン/オフ
2. レーザーLED
3. レーザーボタン
4. Enter/マウス左クリック
5. PC/マウスコントロール
6. マウス右クリック
7. 輝度
8. 再同期
9. Enter
10. ズーム
11. 画面のフリーズ
12. S-VIDEOソース
13. ビデオソース
14. 数字ボタン
15. ページダウン
16. VGAソース
17. 休止
18. HDMIソース
19. メニュー
20. 4方向選択キー
21. ソース
22. キーストーン +/-
23. ページアップ

プロジェクターの接続

❖ 付属品はお住まいの国や地域によって異なる場合があります。

1..................................電源コード
2..................................USBケーブル
3..................................VGAケーブル
4..................................HDMIケーブル (オプションのアクセサリ)
5..................................S-VIDEOケーブル (オプションのアクセサリ)
6..................................コンポジットビデオケーブル (オプションのアクセサリ)
7..................................SCART RGB/Sビデオアダプタ(オプションのアクセサリ)
8..................................DVI/HDMIケーブル (オプションのアクセサリ)

プロジェクターの電源オン/オフ

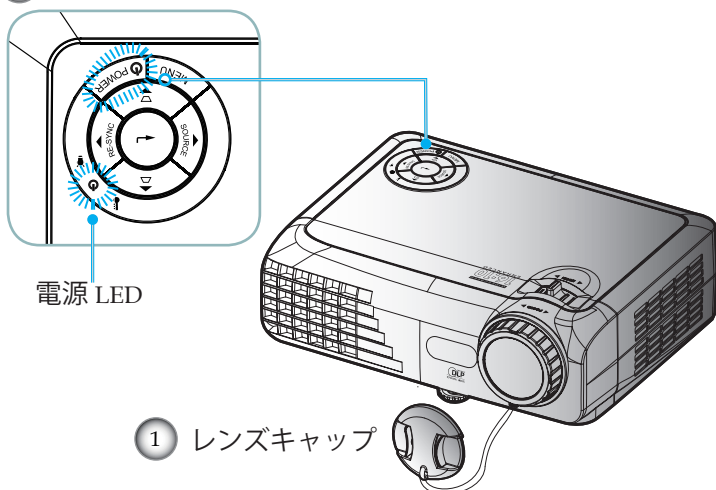
プロジェクターの電源を入れる

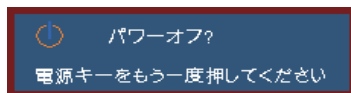
1. レンズキャップを取り外します。 ❶
2. 電源コードと信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 ❷ 電源 LED は黄色になっています。
3. プロジェクター上部の[電源]ボタンまたはリモコンの[電源]ボタンを押して、ランプの電源を入れます。電源LEDが緑で点滅します。

   起動画面は約10秒後に表示されます。初めてプロジェクターを使用するとき、起動画面が表示された後にクイックメニューから好みの言語を選択することができます。
4. ソース（コンピュータ、ノートパソコン、ビデオプレーヤー等）の電源を入れます。プロジェクターは自動的にソースを捜索（検出）します。

❖ まずプロジェクターの電源を入れた後、信号入力源を選択してください。

❖ *画面に「信号なし」が表示されたら、信号ケーブルがしっかり接続されていることを確認してください。*

❖ *複数のソースを同時に接続している場合は、コントロールパネルの [ソース] ボタンを押すか、またはリモコンのソースボタンを押すと入力を切り換えることができます。*

プロジェクターの電源を切る

1. [電源]ボタンを押してプロジェクタのランプの電源を切ると、メッセージがプロジェクタの画面に表示されます。

2. [電源]ボタンをもう一度押して確認します。ボタンを押さなければ、15秒後にメッセージが消えます。

   [電源]ボタンを2度押すと、画面にタイミングのカウントダウンが表示されます。
3. 冷却ファンが約10秒間操作を続け、冷却サイクルを実行します。電源LEDが黄色になると、プロジェクターはスタンバイモードに切り換わっています。

❖ *プロジェクターの電源を再び入れたい場合、プロジェクターが冷却サイクルを終了し、それからスタンバイモードに入るのを待つ必要があります。スタンバイモード中は、[電源] ボタンを押すだけでプロジェクタを再起動させることができます。*

4. 電源コードをコンセントおよびプロジェクターから抜きます。
5. 電源を切った直後は、プロジェクターの電源を入れないでください。

警告インジケータ

❖ [ランプ]インジケータが赤色に点灯している場合、ランプに異常が発生していることを示し、プロジェクトターは自動的にシャットダウンします。 最寄りの販売店またはサービスセンターにご連絡ください。58-59ページを参照してください。

❖ [TEMP（温度）] インジケータが赤く点灯した場合は、プロジェクターが過熱状態であることを意味します。プロジェクターの電源が自動的に切れます。
通常の条件下で、プロジェクターは冷却した後再び電源を入れることができます。それでも問題が解決されない場合、最寄りの代理店またはサービスセンターに連絡する必要があります。
58-59ページを参照してください。

❖ [TEMP（温度）]インジケータが赤く点滅した場合は、ファンが正常に機能していないことを意味します。最寄りの代理店またはサービスセンターにご連絡ください。58-59ページを参照してください。

投射映像の調整

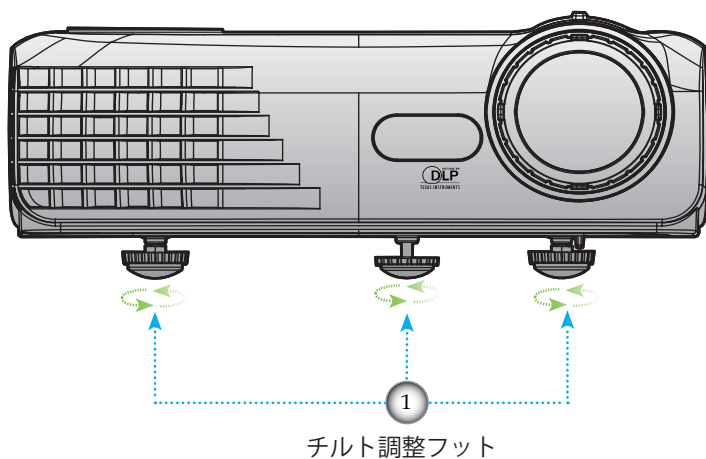
プロジェクターの高さを調整する

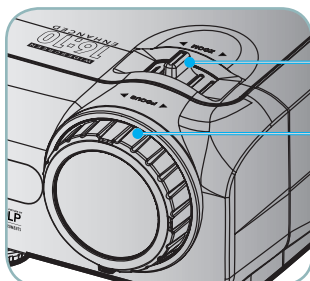
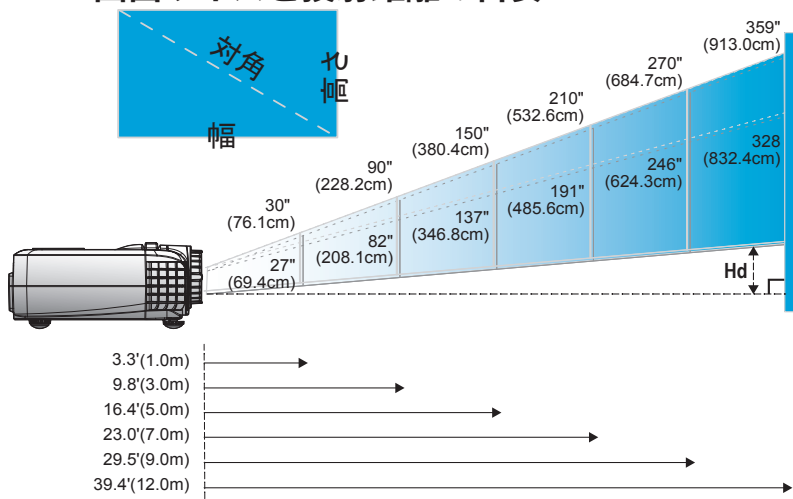
このプロジェクターにはチルト調整フットがあり、投射画像の高低を調節できます。

映像を上に移動するには:

調整フットのネジを使って本体を必要な高さ(傾き)に上げた後、映像角度を微調整します ❶。

映像を下に移動するには:

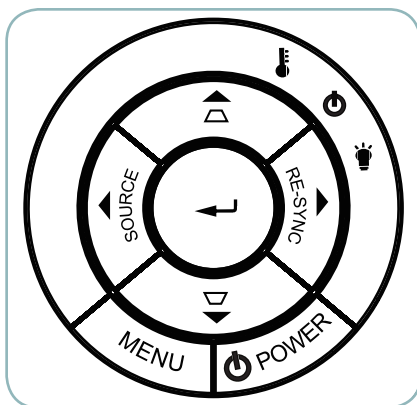
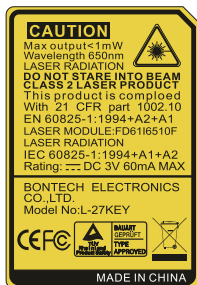
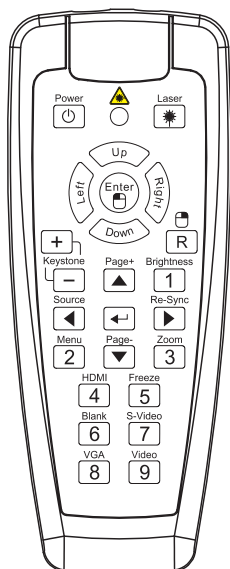
調整フットのネジを使って本体を必要な高さ（傾き）に下げた後、映像角度を微調整します ❶。

プロジェクターのズーム/フォーカスを調整する

ズームリングを回してズームイン/ズームアウトします。映像にピントを合わせるには、映像がクリアに表示されるまでフォーカスリングを回します。本プロジェクターは、1.0 ～ 12.0 mの距離内でピントを合わせることができます。

画面サイズと投射距離の目安

画面(対角)	最大	30" (76.1cm)	90" (228.2cm)	150" (380.4cm)	210" (532.6cm)	270" (684.7cm)	359" (913.0cm)
	最小	27" (69.4cm)	82" (208.1cm)	137" (346.8cm)	191" (485.6cm)	246" (624.3cm)	328" (832.4cm)
スクリーンサイズ	最大 (幅x高さ)	25.4″ x 15.9″ 65 x 40cm	76.2″ x 47.6″ 194 x 121cm	127.0″ x 79.4″ 323 x 202cm	177.8″ x 111.1″ 452 x 282cm	228.6″ x 142.9″ 581 x 363cm	304.8″ x 190.5″ 774 x 484cm
	最小 (幅x高さ)	23.2″ x 14.5″ 59 x 37cm	69.5″ x 43.4″ 177 x 110cm	115.8″ x 72.4″ 294 x 184cm	162.1″ x 101.3″ 412 x 257cm	208.4″ x 130.3″ 529 x 331cm	277.9″ x 173.7″ 706 x 441cm
Hd	最大	1.97″ (5.0cm)	5.91″ (15.0cm)	9.84″ (25.0cm)	13.78″ (35.0cm)	17.72″ (45.0cm)	23.62″ (60.0cm)
	最小	1.79″ (4.6cm)	5.38″ (13.7cm)	8.97″ (22.8cm)	12.56″ (31.9cm)	16.15″ (41.0cm)	21.54″ (54.7cm)
距離		3.3′ (1.0m)	9.8′ (3.0m)	16.4′ (5.0m)	23.0′ (7.0m)	29.5′ (9.0m)	39.4′ (12.0m)

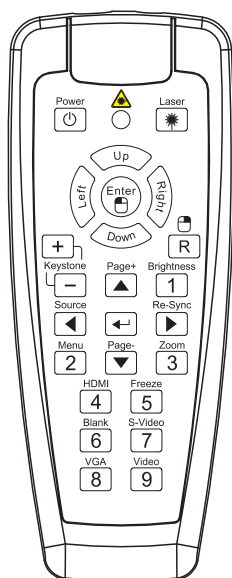
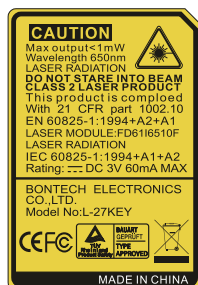
❖ 上図はユーザ参照用の目安です。

コントロールパネルおよびリモコン

機能を設定する方法は、次の2通りあります:コントロールパネルおよびリモコン。

コントロールパネル

コントロールパネルのボタン	
Power (電源)	21～22ページの[プロジェクターの電源オン/オフ]を参照してください。
Menu (メニュー)	[メニュー]を押してオンスクリーン(OSD)メニューを起動します。OSDを終了するには、[メニュー]を再び押します。
Enter	選択した項目を確定します。
Source (ソース)	[ソース]を押して、入力信号ソースを選択します。
Re-sync (再同期)	プロジェクターを自動的に入力ソースと同期化します。
Keystone（キーストン） ▽/△	プロジェクターを斜め方向から投射することにより生じる、イメージのゆがみを調整します（±18度）
4方向選択キー	▲▼◀▶ を使用して項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。
電源LED	プロジェクタのステータスを示します。
ランプLED	プロジェクタのランプステータスを示します。
温度LED	プロジェクタの温度ステータスを示します。

リモコン

リモコンのボタン		
Power (電源)		21～22ページの[プロジェクターの電源オン/オフ]を参照してください。
Laser Button (レーザーボタン)		リモコンをスクリーン画像に向けてこのボタンを押し続けると、レーザーポインタが有効になります。
PC/ Mouse Control (PC/マウスコントロール)		PC/マウスコントロールは、マウスの動きをコントロールするために使用できます。マウス機能は、コンピュータとプロジェクターを接続するためのUSBケーブルを使用して有効になります。
Enter		選択した項目を確定します/マウスの左クリック
Keystone (キーストーン)+/-		プロジェクターを斜め方向から投射することにより生じる、イメージのゆがみを調整します。
R Button (Rボタン)		マウス右クリック
Page + (ページ+)		前のページに移動します
Brightness (輝度)		画像の輝度を調整します。
Source (ソース)		[ソース] を押し、次の端子で入力信号ソースを選択します。
Enter		選択した項目を確定します。
Re-Sync (再同期)		プロジェクターを自動的に入力ソースと同期化します。
Menu (メニュー)		[メニュー]を押してオンスクリーン(OSD)メニューを起動します。OSDを終了するには、[メニュー]を再び押します。
Page - (ページ-)		次のページに移動します。

リモコン

Zoom (ズーム)	プロジェクタディスプレイのズームイン/ズームアウトを切り替えます。
HDMI	[HDMI]を押してHDMIコネクタからソースを選択します。
Freeze (画面のフリーズ)	[画面のフリーズ] ボタンを押すと、スクリーン画像が一時停止します。このボタンをもう一度押すとロック解除されます。
Blank (休止)	一時的にビデオを休止させます。このボタンをもう一度押すとロック解除されます。
S-Video (S-ビデオ)	[S-ビデオ]を押してS-ビデオソースを選択します。
VGA	この[VGA]ボタンを押して、VGAソースを選択します。
4方向選択キー	Use ▲ ▼ ◀ ▶ を使用して項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。
Video (ビデオ)	[ビデオ]を押してコンポジットビデオソースを選択します。

オンスクリーンメニュー

本プロジェクターでは、多言語対応オンスクリーンメニューを使って、画像調整やさまざまな設定の変更を行うことができます。プロジェクターは自動的にソースを捜索（検出）します。

操作方法

1. OSDメニューを開くには、リモコンまたはプロジェクターキーパッドの [メニュー] ボタンを押します。
2. OSDが表示されたら、◀▶キーを使ってメインメニューの任意の項目を選択します。 特定のページを選択し、▼ または「Enter」キーを押してサブメニューに進みます。
3. ▲▼ キーを使って目的の項目を選択し、◀▶ キーで設定を調整します。
4. サブメニューから次に調整したい項目を選択し、上記手順と同様に設定を調整します。
5. [Enter] ボタンを押すと設定が確定し、スクリーンはメインメニューに戻ります。
6. 終了するには、もう一度 [メニュー] ボタンを押します。オンスクリーンメニューが閉じ、プロジェクターは自動的に新しい設定を保存します。

メニューツリー（階層）

イメージ
ディスプレー
Presentation/ブライト/フィルム/sRGB/User
輝度
コントラスト
シャープネス
カラー
アドバンス　メニュー
イメージ設定 | カラー
赤ゲイン
緑ゲイン
青ゲイン
赤バイアス
緑バイアス
青バイアス
青緑 (シアン)
赤紫 (マジェンタ)
黄
リセット
いいえ/はい
イメージ設定 | アドバンス　メニュー
ガンマ
Film/Video/Graphics/PC
White Peaking
色温度
低/中/高
Image AI
オフ/オン
Color Space
AUTO/RGB/YUV
入力ソース
HDMI/VGA/S-Video/Video
ディスプレー
フォーマット
4:3/16:9/16:10/LBX/Native/AUTO
Overscan
ズーム
水平イメージ シフト
垂直イメージ シフト
垂直台形補正
PCモード
通常/ワイド
セットアップ
言語選択
English/Deutsch/Français/Italiano/Español/Português/
Polski/Nederlands/Русский/Suomi/Svenska/
Norsk/Dansk/ελληνικά/Magyar/ Čeština/ 简体中文/
繁體中文/日本語/한국어/ไทย/عربي
投射方式
メニュー位置
画面タイプ
16:9/16:10
シグナル
安全設定
セットアップ | シグナル
位相
周波数
水平位置
垂直位置
セットアップ | 安全設定
安全設定
オフ/オン
Security Timer
月/日/時
パスワード変更
オプション
ソースロック
オフ/オン
高海抜エリア
オフ/オン
Information Hide
オフ/オン
Keypad Lock
オフ/オン
背景
ブラック/Blue
アドバンス　メニュー
ランプ設定
リセット
いいえ/はい
オプション | アドバンス　メニュー
Direct Power On
オフ/オン
オート パワー オフ (min)
スリープ タイマー (min)
OPTIONS | LAMP SETTINGS
STD Lamp Hours
BRIGHT Lamp Hours
ランプ警告
オフ/オン
ブライト　モード
Eco/ブライト
ランプリセット
いいえ/はい

ディスプレー

まざまな映像方式用に最適化されたプリセット設定が用意されています。

- Presentation: コンピュータ入力から得られる最適カラーと明度
- ブライト: PC入力からの最大輝度。
- フィルム: ホームシアター用。
- sRGB: 標準化された正確な色彩。
- User: ユーザー独自の設定用。

輝度

画像の輝度を調整します。

- ◀ を押すとイメージが暗くなります。
- ▶ を押すとイメージが明るくなります。

コントラスト

コントラストは、画像や映像の最暗部（黒）と最明部（白）の差の度合いを調整します。コントラストを調整すると、画像の黒と白の量が変化します。

- ◀ を押すとコントラストが下がります。
- ▶ を押すとコントラストが上がります。

シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

- ◀ を押すとシャープネスが下がります。
- ▶ を押すとシャープネスが強くなります。

イメージ設定 | カラー

カラー

- ▲または▼を使って項目を選択します。◀または▶を使い、輝度(ゲイン)とコントラスト(バイアス)に対して赤、緑、または青を選択します。
- 更に個別の色調整をするには、青緑(シアン)や赤紫(マジェンタ)、黄を調整する、または工場出荷時設定(デフォルト)に戻します。

イメージ設定 | アドバンスメニュー

ガンマ

入力ソースを最高画質で再現するために微調整されたガンマテーブルを選択することができます。

- Film: ホームシアター用。
- Video: ビデオまたはTVソース用。
- Graphics: イメージソース用。
- PC: PCまたはコンピュータソース用。

White Peaking

この調整可能なアイテムは新しいカラー処理アルゴリズムとシステムレベルのエンハンスメントを利用して高い輝度を可能にしながら、映像に真の、鮮やかなカラーを実現します。 範囲は[0]から[10]の間です。画像をより強化したい場合は、最大設定方向に調整します。画像をよりスムーズに、より自然にしたい場合は、最小設定方向に調整します。

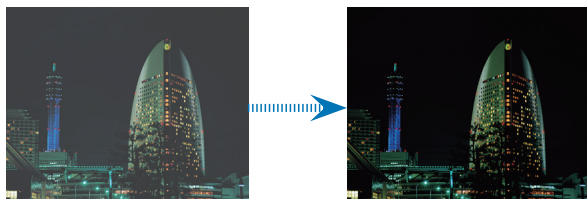
色温度

色温度を調整します。冷たい温度では、青みの強い冷たい雰囲気の映像になり、暖かい温度では、赤みの強い暖かい雰囲気の映像になります。

イメージ設定 | アドバンスメニュー

Image AI

イメージ AIは、映像のコンテンツに従ってランプの輝度を最適化することにより、映像のコントラストの向上を図っています。

- オン:ダイナミック画像パフォーマンスマネージャがアクティブになっていると、映画のもっとも暗い細部まで明瞭に再現され、全編を通して鮮明で明るい画像パフォーマンスをお楽しみいただけます。

- オフ:ダイナミックなイメージパフォーマンスマネージャは、スタンバイ状態にあります。

イメージ設定 | アドバンス メニュー

Color Space

AUTO, RGB, YUVから適切なカラーマトリックスタイプを選択します。

入力ソース

信号源の選択をオンにします。 以下のように ↵ を押して次のメニューに入り、 ◀または▶ を使って選択します。[ENTER] を押すと選択が確定されます。プロジェクターは、非選択状態の入力を検索しません。

ディスプレー

フォーマット

ここで、ご希望のアスペクト比を選択します。

- 4:3: このフォーマットは4x3入力ソース用で、ワイドスクリーンTV用に機能強化されていません。
- 16:9: このフォーマットは、ワイドスクリーンTV用に機能強化されたワイドスクリーンPC、HDTV、DVDなどの16×9入力ソース用です。
- 16:10: このフォーマットはワイドスクリーンTV用に機能強化されたHDTV と DVDなどの、16x9入力ソース用です。
- LBX: 16x9ではないLetterBoxソースを投写する場合や、16x9外部レンズを使用して画像を2.35:1アスペクト比で最大解像度により投写する場合に選択します。
- Native: このフォーマットは、スケーリングなしでオリジナルの画像を表示します。
- AUTO:自動フォーマットが選択されている場合、画面タイプは自動的に 16:10 になります。

アスペクト比 (検出されたーソース)	画像のサイズ変更
4:3	1066 x 800
16:9	1280 x 720
15:9	1280 x 768
16:10	1280 x 800

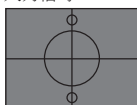
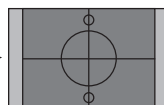
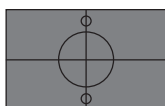
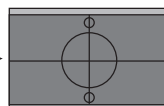
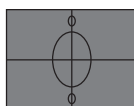
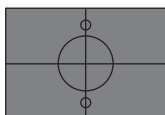
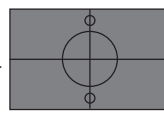
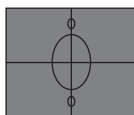
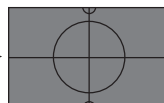
- 2 つの画面タイプ 16:10 および 16:9。

  16:9 を選択すると、フォーマットは 4:3、16:9、LBX、Native、AUTOになります。

  画面タイプのモードが 16:10 であれば、フォーマットは 4:3、16:10、LBX、Native、AUTOになります。

  (詳細は42ページをご参照ください)

ディスプレー

イメージ
ディスプレー
セットアップ
オプション
ディスプレー
フォーマット
4:3
Overscan
2
ズーム
2
水平イメージ シフト
2
垂直イメージ シフト
2
垂直台形補正
0
PCモード
通常
上下
選択
メニュー オフ

ディスプレー域
映像表示域
入力信号
スクリーン表示
4:3 フォーマット
or
16:9 フォーマット
or
16:10 フォーマット

LBX フォーマット

ディスプレー

LBXモードに関する詳細情報:

1) LBX DVDコンテンツの中には16x9 TV用に機能強化されておらず、画像が16:9ディスプレーで正しく表示されない場合もあります。正しい情報を表示するには、4:3モードを使用できます。しかし、コンテンツ自体が4:3でない場合、16:9ディスプレーの画像の回りに黒いバーが表示されます。この種類のコンテンツの場合、LBXモードを使用して画像を16x9ディスプレーに可能な限り表示することができます。

2) LBX DVDコンテンツの中には16x9 TV用に機能強化されておらず、画像が16:9ディスプレーで正しく表示されない場合もあります。正しい情報を表示するには、4:3モードを使用できます。しかし、コンテンツ自体が4:3でない場合、16:9ディスプレーの画像の回りに黒いバーが表示されます。この種類のコンテンツの場合、LBXモードを使用して画像を16x9ディスプレーに可能な限り表示することができます。

これら2つの場合以外は、ほとんどの表示体験の場合、16:9と4:3モードのままにしておく必要があります。

ディスプレー

Overscan

オーバースキャン機能では、ビデオ映像のノイズを除去します。イメージをオーバースキャンしてビデオソースのエッジのビデオエンコードノイズを削除します。

ズーム

- ◀ を押すとイメージのサイズが小さくなります。
- ▶ を押すとスクリーンに投射されたイメージが拡大します。

水平イメージ シフト

投影された画像位置を水平に移動します。

垂直イメージ シフト

投影された画像位置を垂直に移動します。

垂直台形補正

◀ または ▶ を押すと、画像のイメージの歪みが調整されより正方形に近いイメージが得られます。

ディスプレー

PCモード

このモードは、アナログまたはデジタル接続のいずれかを使ってPC信号でこのプロジェクターを使用する際にのみ適用します。

- ワイド: PC出力がワイドスクリーンフォーマット解像度である場合、この設定を選択する必要があります。

  ワイドスクリーン解像度には、720 x 400 / 854 x 480 / 1280 x 720 / 1280 x 768 などがあります。

- 通常: PC出力が標準(4:3)解像度の場合、この設定を選択する必要があります。

  標準解像度には、640 x 480 / 800 x 600 / 1024 x 768 / 1152 x 870 (*Mac用) / 1280 x 1024 / 1400 x 1050などがあります。

  * サポートされるすべての解像度は 57ページに一覧表示されています。

セットアップ

言語選択

多言語対応オンスクリーンメニューをご希望の言語に設定します。サブメニューの◀または▶を押し、▲または▼キーを使ってお好みの言語を選択します。[ENTER] を押すと選択が確定されます。

セットアップ

投射方式

- 正面-卓上

  工場出荷時はこれに設定されています。

- 裏側-卓上

  この機能を選択すると、透過スクリーンの裏側から投射できるように画像が反転します。

- 正面ーイメージリバース

  この機能を選択すると、プロジェクターが画像を180度回転させ上下を逆にします。

- 裏側ーイメージリバース

  この機能を選択すると、画像の上下左右が同時に反転します。半透明スクリーンの背後から映像を投射することができます。

❖ プロジェクタで反転表示が選択されている場合、[ランプ設定]の中の[輝度モード]は、[ブライト]のみとなります。

メニュー位置

スクリーン上に表示されるメニューの位置を選択します。

セットアップ

画面タイプ

画面タイプを 16:10 (1280 x 800) または 16:9 (1280 x 720) として選択します。

❖ 「画面タイプ」が 16:9 に設定されている場合デフォルトのフォーマットは元の「4:3、16:10、LBX、Native、AUTO」から「4:3、16:9、LBX、Native、AUTO」に変わります。

(詳細は35ページをご参照ください)

▶ 16:10 画面

ソース	480i/p	576i/p	720p	1080i	PC
4:3	1066 x 800に拡大縮小				
16:10	1280 x 800に拡大縮小				
LBX	1280 x 960に拡大縮小				
Native	1:1 中央にマッピング		中央で 1280 x 720	1:1 マッピングで中央に 1280x800 表示	1:1 中央にマッピング
AUTO	このフォーマットが選択されている場合、画面タイプは 16:10 (1280 x 800) になります。				

▶ 16:9 画面

ソース	480i/p	576i/p	720p	1080i	PC
4:3	960 x 720に拡大縮小				
16:9	1280 x 720に拡大縮小				
LBX	1280 x 960に拡大縮小				
Native	1:1 中央にマッピング		中央で 1280 x 720	1:1 マッピングで中央に 1280x720 表示	1:1 中央にマッピング
AUTO	このフォーマットが選択されている場合、画面タイプは 16:10 (1280 x 800) になります。				

セットアップ| シグナル

位相

「位相」は、ディスプレイの信号タイミングとグラフィックカードを同期化します。画像が乱れたりちらついたりする場合は、この機能を使って修正します。

> ❖ 「シグナル」メニューは、アナログVGA (RGB) 信号でのみサポートされています。

周波数

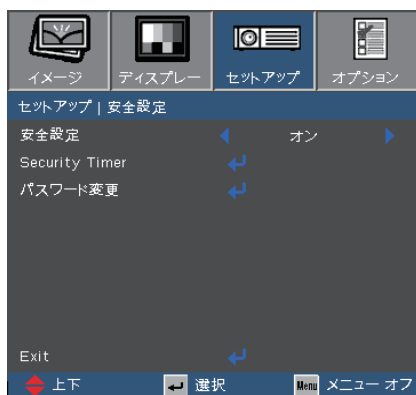
「周波数」を調整して、ディスプレイデータ周波数を、コンピュータのグラフィックカード周波数に適合させます。映像に縦の縞模様やちらつきが表れる場合は、この機能を使って調整します。

水平位置

- ◀ を押すとイメージが左に移動します。
- ▶ を押すとイメージが右に移動します。

垂直位置

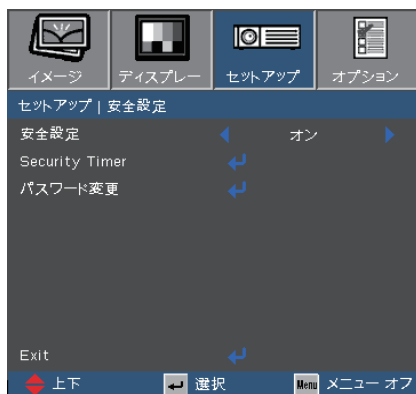
- ◀ を押すとイメージが下に移動します。
- ▶ を押すとイメージが上に移動します。

セットアップ| 安全設定

安全設定

- オン: [オン] を選択すると、プロジェクターの電源を入れる際にセキュリティ認証を使用します。
- オフ: [オフ] を選択すると、セキュリティー認証を行うことなくプロジェクターの電源を入れることができます。

Security Timer

（月/日/時）を選択して、プロジェクターを使用することのできる期間を設定します。 この時間が経過すると、プロジェクターから再度パスワードを入力するよう要求されます。

セットアップ| 安全設定

- *最初:*

1. *パスワードは4桁で、デフォルトでは「1234」に設定されています。(最初)*
2. *リモコンの数字ボタンを押してパスワードを入力し、[↵] キーを押して確定します。*

パスワード変更

1. [↵]を押して古いパスワードを入力します。
2. 数字ボタンを使って現在のパスワードを入力し、[↵]キーをもう一度押すと次のOSDメニューが表示されます。
3. スクロールダウンしてパスワードをハイライトし、[↵]を押してオンにします。
4. リモコンの数字ボタンを使って新しいパスワード(4桁長)を入力し、[↵]を押して確定します。
5. もう一度新しいパスワードを入力し、[↵]を押して確定します。

オプション

ソースロック

- オン:プロジェクターは、指定した接続ポートを捜索します。
- オフ:プロジェクターは、現在の入力信号が途切れると、自動的に他の信号を捜索します。

高海抜エリア

[オン]を選択すると高海抜エリアモードが有効になります。ファンが最高速度で連続動作し、高海抜エリアにおいてプロジェクターを適切に冷却します。

Information Hide

- オン: [オン]を選択すると、検索メッセージが非表示になります。
- オフ: [オフ]を選択すると、検索メッセージが表示になります。

Keypad Lock

キーパッドロック機能がオンになっているとき、コントロールパネルはロックされますが、プロジェクターはリモコンによって操作できます。この機能をキャンセルするには、リモコンを使うかコントロールパネルの[Enter]キーを7秒間押してこの機能をオフにします。

背景

この機能を使用して、信号が利用できない場合[青]または[黒]スクリーンを表示します。

リセット

[はい]を選択するとすべてのメニューのディスプレイパラメータが工場出荷時設定に戻ります。

オプション| アドバンス メニュー

Direct Power On

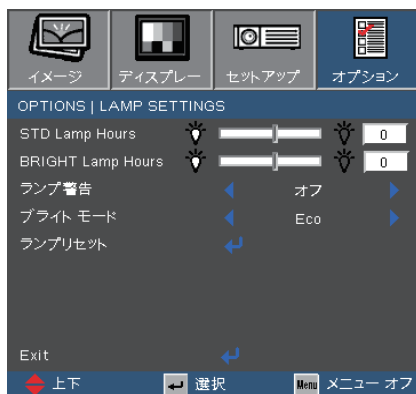
[オン]を選択するとオートパワーオンモードが有効になります。プロジェクターはAC電源が接続されると、プロジェクター制御パネルまたはリモコンの「電源」キーを押さなくても、自動的に電源がONになります。

オート パワー オフ (min)

カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号が途切れると、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます(数分以内に)。

スリープ タイマー (min)

カウントダウンタイマーの時間を設定します。タイマーは、入力信号のあるなしに関わらず開始します。スリープタイマーのカウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます。

Options | Lamp Settings

STD Lamp Hours

STDモードでの投射時間を表示します。

BRIGHT Lamp Hours

ブライトモードでの投射時間を表示します。

ランプ警告

ランプ交換メッセージが表示されたときに、警告メッセージの表示/非表示を設定します。 メッセージは、推奨されるランプの交換の約30時間前から表示されます。

ブライト モード

- Eco: [Eco] を選択するとプロジェクターランプの光量を減らして電源消費量を少なくし、寿命を最大130%延長することができます。
- ブライト: [ブライト]を選択すると明るさが増します。

ランプリセット

ランプ交換後、ランプの寿命カウンタをリセットする際に使用します。

故障かなと思ったら

プロジェクターに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。
(詳細は、58-59ページをご参照ください)

画像の問題

? スクリーンに何も画像が表示されない

- すべてのケーブルと電源が、[設置方法]の章に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
- コネクタのピンが曲がっていないか、または壊れていないか確認してください。
- プロジェクターランプが正しく取り付けられているか確認してください。[ランプの交換]を参照してください。
- レンズキャップが付いていないか、また、プロジェクタの電源が入っているか確認してください。

? 画像が部分的にしか表示されない、スクロールするまたは正しく表示されない

- リモコンの[再同期]を押します。
- PC使用時:

❖ (*) 解像度XGA (1024 x 768)はコンピュータ信号にお勧めします。

For Windows 95, 98, 2000, XP:

1. [マイコンピュータ] アイコンから[コントロールパネル] フォルダを開き、[ディスプレー] アイコンをダブルクリックします。
2. [設定] タブを選択します。
3. ディスプレー解像度設定が SXGA+ (1400 x 1050)以下であることを確認します。(*)
4. [詳細] ボタンをクリックします。

それでもプロジェクターから画像全体が投射されない場合は、現在使用しているモニタディスプレーを変更する必要があります。次のステップをご参照ください。

5. 解像度設定が SXGA+ (1400 x 1050)以下であることを確認します。

❖ (*) 解像度XGA (1024 x 768)はコンピュータ信号にお勧めします。

6. [モニタ] タブの[変更] ボタンを選択します。
7. [全デバイス表示] をクリックします。次に、SPボックスで [標準モニタタイプ] を選択し、[モデル] ボックスで必要な解像度モードを選択します。
8. モニタディスプレーの解像度設定が SXGA+ (1400 x 1050) (*)以下であることを確認します。

- ノートパソコン使用時 :

1. まず、上記の手順に従ってコンピュータの解像度を調整します。
2. 以下に記載の適切なキーを押すと、ノートPCメーカーはノートPCからプロジェクターに信号を送信します。 例: [Fn]+[F4]

Acer ⇨	[Fn]+[F5]	IBM/Lenovo ⇨	[Fn]+[F7]
Asus ⇨	[Fn]+[F8]	HP/Compaq ⇨	[Fn]+[F4]
Dell ⇨	[Fn]+[F8]	NEC ⇨	[Fn]+[F3]
Gateway ⇨	[Fn]+[F4]	Toshiba ⇨	[Fn]+[F5]

Mac アップル:
システム設定 ⇨ ディスプレー ⇨ 調整 ⇨ ミラーディスプレイ

- 解像度を変更できない場合やモニタがフリーズした場合は、プロジェクターを含むすべての機器を再起動してください。

? ノートパソコンの画面に、投射映像が表示されない

- ノートパソコン使用時
  ノートパソコンの機種によっては、第二ディスプレー機器使用中は、スクリーンが自動的に無効となります。再びスクリーンを有効にする方法は機種によって異なります。 詳細につきましては、お使いのコンピュータの取扱説明書をご参照ください。

? 画像が乱れる、またはちらつく

- [位相] を使って修正してください。詳細は、43ページをご参照ください。
- コンピュータのモニタのカラー設定を変更してください。

? 映像に縦の縞模様が出る

- [周波数] を調整してください。詳細は、43ページをご参照ください。
- グラフィックカードのディスプレーモードがプロジェクターと一致しているか確認し、一致していない場合は再設定してください。

画像のピントが合っていない

- レンズのドアが開いていることを確認してください。
- プロジェクターレンズのフォーカスリングで調整してください。
- プロジェクターと投射スクリーン間の要求される距離が1.0～12.0 m以内にあることを確認してください。詳細は24ページをご参照ください。

16:9 DVDを再生表示しているとき、映像が伸びる。

アナモフィックDVDまたは16:9 DVDを再生しているとき、プロジェクターはプロジェクター側で16:9フォーマットで最高の画像を表示します。

4:3フォーマットDVDタイトルを再生している場合、プロジェクターOSDで4:3としてフォーマットを変更してください。

LBXフォーマット DVD タイトルを再生している場合、プロジェクター OSD で LBX としてフォーマットを変更してください。

それでも映像が伸びるときは、次の手順に従ってアスペクト比を変更する必要があります。

- お使いのDVDプレーヤーで、16:9 (ワイド)アスペクト比タイプとしてディスプレーフォーマットをセットアップしてください。

画像が小さすぎるまたは大きすぎる

- プロジェクター上部のズームリングを調整します。
- プロジェクターをスクリーンに近づけたり離したりしてください。
- リモコンまたはコントロールパネルの[メニュー]ボタンを押して、[ディスプレー→フォーマット]に移動し異なる設定を試してください。

❖ キーストーンの使用はお勧めしません。

画像の両側が斜めになる

- 可能であれば、プロジェクターがスクリーンの中央下端に来るように配置し直してください。
- 両側がリモコンで垂直になるまで[キーストーン +/-]ボタンを押します。

映像が反転する

- スクリーンメニューから[セットアップ→投射方式]を選択し、投射方向を調整してください。

中断の問題

? プロジェクターがすべてのコントロールへの反応を停止します

- 可能であれば、プロジェクターの電源を切って電源コードを抜き、60秒待ってから電源を接続し直してください。

? ランプが消える、またはランプから破裂音がする

- ランプが寿命に近づくと、ランプはいずれ切れます。また、大きな破裂音が発生することがあります。 この場合、ランプモジュールを交換しない限り、プロジェクターの電源を入れることはできません。[ランプの交換]（55-56ページ）に記載の手順に従ってランプを交換してください。

プロジェクターステータスの表示

? LED 点灯メッセージ

メッセージ	電源LED	温度LED	ランプLED
	(緑/黄)	(赤)	(赤)
スタンバイ状態 (電源コード接続済)	黄	○	○
電源オン (ウォーミング)	緑で点滅	○	○
ランプ点灯	緑	○	○
エラー(過熱)	○	☼	○
エラー (ファントラブル)	○	点滅 (1秒オン、1秒オフ)	○
エラー (ランプトラブル)	○	○	☼

点灯 ⇨ ☼　　消灯 ⇨ ○

警告メッセージ

- ファンのトラブル:

警告。ファンがロックされています
プロジェクタは自動的にスイッチがオフになります。
修理については、サービスセンターにお問い合せください。

- 温度警告:

- ランプの交換:

- 表示範囲外:

リモコンの問題

? リモコンが作動しない場合、次を確認してください

- リモコンの操作角度が約±22.5°になっていることを確認する。
- リモコンとプロジェクターのボックスの間に障害物がないことを確認する。プロジェクターのボックスから6 m以内に移動する。
- 電池が正しくセットされていることを確認する。
- 電池残量がなくなっていないか確認する。残量がなくなっている場合、リモコンの電池を交換する。

ランプの交換

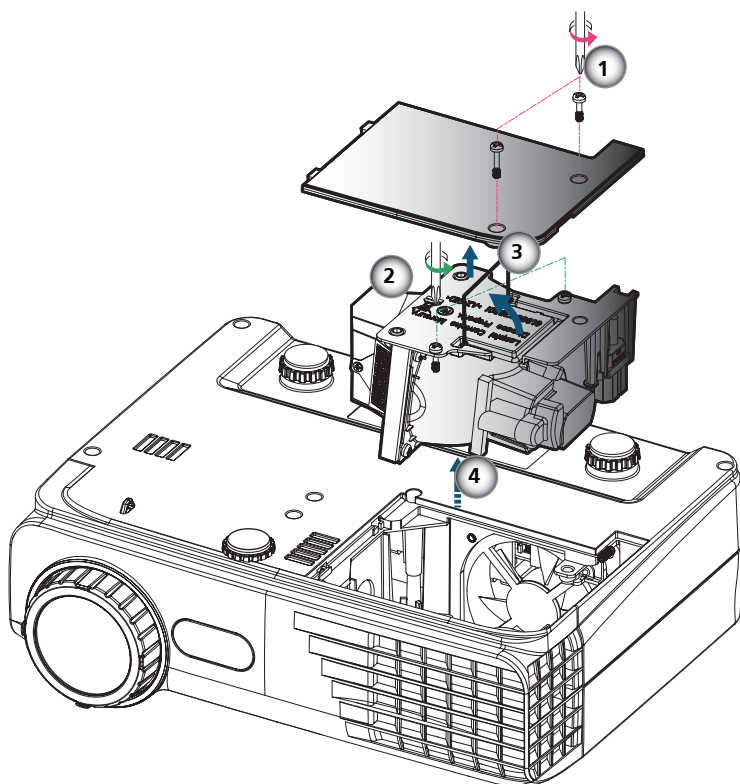
プロジェクターはランプの寿命を自動的に検出します。ランプの寿命に近づいている場合、警告メッセージが表示されます。

ランプ警告

ランプの寿命を過ぎています。

このメッセージが表示されたら、できる限り速やかに最寄りの販売店またはサービスセンターに連絡して、ランプを交換してください。ただし、ランプを交換する前に、プロジェクターが十分冷却されるまで約30分お待ちください。

⚠ 警告:ランプ収納箱は熱くなっている可能性があります! 冷却するまでお待ちいただき、ランプの熱が冷めてから交換してください。

⚠ 警告:怪我を防ぐため、ランプを落下させたり、ランプのバルブに触れることのないようご注意ください。バルブが落下すると粉々に砕けて飛び散り、怪我をする恐れがあります。

ランプ交換手順：

1. [電源] ボタンを押してプロジェクタの電源を切ります。
2. ランプが十分冷却されるまで約30分間お待ちください。
3. 電源コードを外します。
4. ドライバーを使ってカバーから2本のねじを取り外し、カバーを下に押して取り外します。 ❶
5. ランプモジュールに取り付けられている2本のネジを、ドライバーで取り外します。 ❷
6. ランプハンドルを慎重に引っ張ります。 ❸
7. ランプモジュールを引き上げて取り外します。 ❹

ランプモジュールを交換し、上記の手順を逆に繰り返します。

8. ランプモジュールを交換したら、プロジェクタの電源を入れ [ランプリセット]を使用します。

ランプリセット: (i)[メニュー]を押し→ (ii)[オプション]を選択し→ (iii)[ランプ設定]を選択し → (iv)[ランプリセット]を選択し → (v)[はい]を選択します。

互換モード

コンピュータの互換 性

モード	解像度	垂直同期(Hz)	
		アナログ	デジタル
VGA	640 x 480	60, 72, 75, 85	60, 72, 75, 85
VGA	720 x 400	70, 85	70, 85
SVGA	800 x 600	56, 60, 72, 75, 85	56, 60, 72, 75, 85
SVGA	832 x 624	72	72
XGA	1024 x 768	60, 70, 75, 85	60, 70, 75, 85
* XGA	1152 x 864	60, 70, 75, 85	60, 70, 75, 85
WXGA	1280 x 720	50, 60	***
WXGA	1280 x 768	60	60
WXGA	1280 x 800	60	60
* SXGA	1280 x 1024	60, 75	60, 75
* SXGA+	1400 x 1050	60	60
MAC LC 13”	640 x 480	66,66	***
MAC II 13”	640 x 480	66,68	***
MAC 19”	1024 x 768	75	***
* MAC	1152 x 870	75,06	***
MAC G4	640 x 480	60	60, 70
i MAC DV	1024 x 768	75	***
* i MAC DV	1152 x 870	75	***
* i MAC DV	1280 x 960	75	***
480i/p	720 x 480	***	60
576i/p	720 x 576	***	50
720p	1280 x 720	***	50, 60
* 1080i	1920 x 1080	***	50, 60

❖ “*”は圧縮コンピュータ画像です。

❖ ワイドスクリーン解像度（WXGA）のサポート適合性については、ノートブック/PCモデルに依存します。

ビデオ互換性

NTSC	M (3.58MHz), 4.43 MHz, 480i/p @60Hz
PAL	B, D, G, H, I, M, N, 576i/p @50Hz
SECAM	B, D, G, K, K1, L
HDTV	480p, 576p, 720p, 1080i (50/60 Hz)

Optoma 社 お問い合わせ先

サービスやサポートにつきましては、最寄のオフィスまでご連絡ください。

アメリカ

715 Sycamore Drive
Milpitas, CA 95035, USA
www.optomausa.com

電話: 408-383-3700 (English/French)
Fax : 408-383-3702
メールアドレス : services@optoma.com

カナダ

5630 Kennedy Road, Mississauga,
ON, L4Z 2A9, CANADA
www.optoma.ca

電話: 905-361-2582
Fax : 905-361-2581

ヨーロッパ

42 Caxton Way, The Watford Business Park
Watford, Hertfordshire,
WD18 8QZ, UK
www.optoma.eu

電話: +44 (0) 1923 691 800
Fax : +44 (0) 1923 691 888

カスタマーサービス TEL : +44 (0)1923 691865
メールアドレス : service@tsc-europe.com

フランス

Bâtiment E
81-83 avenue Edouard Vaillant
92100 Boulogne Billancourt, France

電話: +33 1 41 46 12 20
Fax : +33 1 41 46 94 35
メールアドレス : savoptoma@optoma.fr

スペイン

C/ José Hierro,36 Of. 1C
28529 Rivas VaciaMadrid,
Spain

電話: +34 91 499 06 06
Fax : +34 91 670 08 32

ドイツ

Werftstrasse 25
D40549 Düsseldorf,
Germany

電話: +49 (0) 211 506 6670
Fax : +49 (0) 211 506 66799
メールアドレス : info@optoma.de

スカンジナビア

Grev Wedels Plass 2
3015 Drammen
Norway

電話: +47 32 26 89 90
Fax : +47 32 83 78 98
メールアドレス : info@optoma.no

南米

715 Sycamore Drive
Milpitas, CA 95035, USA
www.optoma.com.br

電話: 408-383-3700
Fax : 408-383-3702
www.optoma.com.mx

韓国

WOOMI TECH.CO.,LTD.
4F,Minu Bldg.33-14, Kangnam-Ku,
seoul,135-815, KOREAN

電話: +82+2+34430004
Fax : +82+2+34430005

日本

東京都足立区綾瀬3-25-18
株式会社オーエスエム
サポートセンター:0120-46-5040

E-mail : info@osscreen.com
www.os-worldwide.com

台湾

5F., No. 108, Minchiuan Rd.
Shindian City,
Taipei Taiwan 231, R.O.C.
www.optoma.com.tw

電話: +886-2-2218-2360
Fax : +886-2-2218-2313
メールアドレス : services@optoma.com.tw
asia.optoma.com

香港

Unit A, 27/F Dragon Centre,
79 Wing Hong Street,
Cheung Sha Wan,
Kowloon, Hong Kong

電話: +852-2396-8968
Fax : +852-2370-1222
www.optoma.com.hk

中国

5F, No. 1205, Kaixuan Rd.,
Changning District
Shanghai, 200052, China

電話: +86-21-62947376
Fax : +86-21-62947375
www.optoma.com.cn

規制と安全に関する通知

この付録では、お使いのプロジェクターの一般的通知を一覧表示しています。

FCC通知

本装置は、FCC基準パート15に準ずるClass Bのデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限事項は、住宅地域で使用した場合に生じる可能性のある電磁障害を規制するために制定されたものです。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

しかしながら、特定の設置状況においては電波障害を起こさないという保証はありません。 本装置がラジオやテレビの受信に障害を与えていないかを判断するには、本装置の電源をオンオフしてみます。受信障害が発生している場合には、以下の方法で受信障害を改善することをお薦めします。

- 受信アンテナの方向または設置位置を変える。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 本装置と受信機の電源系列を別の回路にする。
- 販売店やラジオ/ビデオの専門技術者に問い合わせる。

通知: シールドされたケーブル

他のコンピュータ装置へのすべての接続には、FCC規制に準拠するためにシールドされたケーブルを使用する必要があります。

注意

FCC準拠に責任を持つ第三者からの明確な許可を受けることなく、本体に製造元から承認されていない変更や改造が行われた場合には、本装置を使用する権利が規制される場合があります。

操作条件

本製品はFCC規則パート15に準拠しています。
操作は次の2つの条件に規制されます:

1. 電波障害を起こさないこと、
2. 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

通知: カナダのユーザー

このクラスBデジタル機器はカナダICES-003に準拠しています。

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numerique de la classe B est conforme a la norme NMB-003 du Canada.

EU諸国に対する適合宣言

- EMC指令2004/108/EC(修正案を含む)
- 低電圧指令2006/95/EC
- R & TTE指令1999/5/EC(製品のRF機能が搭載されている場合)

廃棄に関する指示

この電子デバイスを処分するとき、ごみ箱に捨てないでください。 汚染を最小限に抑え地球環境を最大限に保護するため、本製品をリサイクルしてください。